

# ポスト運動

ポスト運動は、外に住むみんなが助け合い、支えあって安心して暮らせる集落づくりをめざす住民の見守り運動です。

# 幸

ふれあいポスト

# 幸せのホットライン

「幸せのホットライン」は、独り暮らしや高齢者夫婦のお家と近隣のお家を結ぶ緊急連絡のインターホンです。

こんな時

- 1、ポストに新聞や郵便物がたまっていないか気を配りあいましょう。
- 2、もしも、新聞や郵便物がたまっていたら声をかけあいましょう。

(第三種郵便物認可)

1999年(平成11年)10月22日(金曜日)

## 愛東町外地区が提供時間一覧

# 隣同士協力し 高齢者支える 送迎や話し相手に利用

お隣さん同士がお年寄りを支え合おう。愛東町で高齢化率が最も高い外地区(約六千二百二十人)で、住民らがお年寄りの送迎や買い物などに使える「送迎時間」をアンケートで調査。提供できる時間を一覧表にまとめて各戸に配り、利用希望者を募るなど地域づくりの体制づくりを始めた。農村部でも高齢になりつつある住民同士の結束を高め支えあうことで、介護保険制度の導入を促す、老人福祉の一つの取り組みとして注目される。

アンケートしたのは、住民らによる「大字外福祉委員会」(安岡重隆委員長、委員二十四人)。「もちろめたれつ活動」と題して全住民を対象に三回にわたって行い、「どうな手助けがあればいいか」などの質問。「買い物」「話し相手」などの意見が多かったためさらに「頼まれればはたせよう」と聞いた。

その結果、延べ約百三十人が名乗りを上げ、「買い物」「話し相手」「介護の手伝い」「送迎の送迎」の四項目で、それぞれ提供可能な時間や曜日を入力してもらった。話し相手では、約千人の約百三十分「二時間」二時間程度に分けて記載。

一回、自分の買い物時に「や」「勤め構り」などの住居も。送迎は「午後五時から午前六時」と深夜の時間帯に成りる人もいた。同委員会では、一覧表を各戸に配布して利用希望を調整したり、お年寄りが近くのボウリング場に目標を定めていきまわすという。

同地区では一月頭毎六十五歳以上が七十人近くいる。そのうち高齢化率は約30%と町平均の2%強をかなり上回っている。介護保険制度は、認定に満たない人の支援が課題の一つで、各自治体ではボウリング場の協力を求める声が多い。同町は「制度の運用ではなく各地域で、住民の福祉

単位にきめ細かな助け合いができれば」と期待している。安岡重隆氏は「隣同士で助け合いのシステムがあれば、住民に声も掛けやすくなるはず。昔のような近所のつながりを取り戻すきっかけになれば」といい、「アライバ」を気にかける声もあるだろうが「時間をかけて選定をせいでいい」として

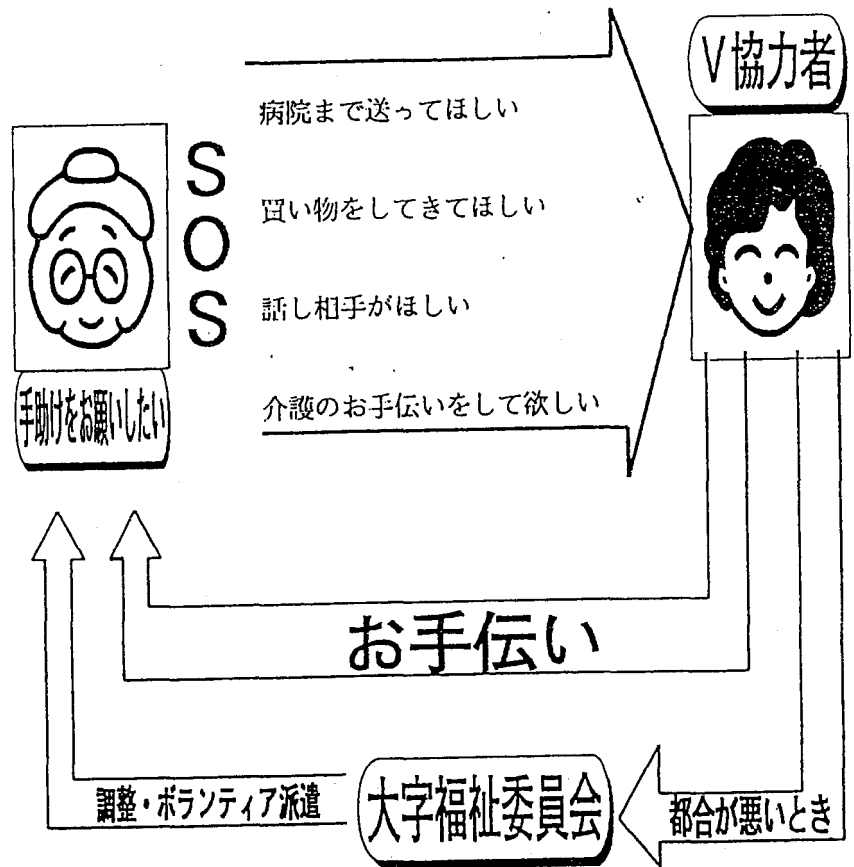


# 買い物してきますよ

買い物のついでするとき、家族と離れて暮らされている方など、家族に代わって日用品の買い物を行う助け合いです。

【お願い】 \*買い物をしてくださる方は、ご好意による活動です。  
万が一、希望の品と違うなどの問題が発生したときの責任は、負えないと考えています。

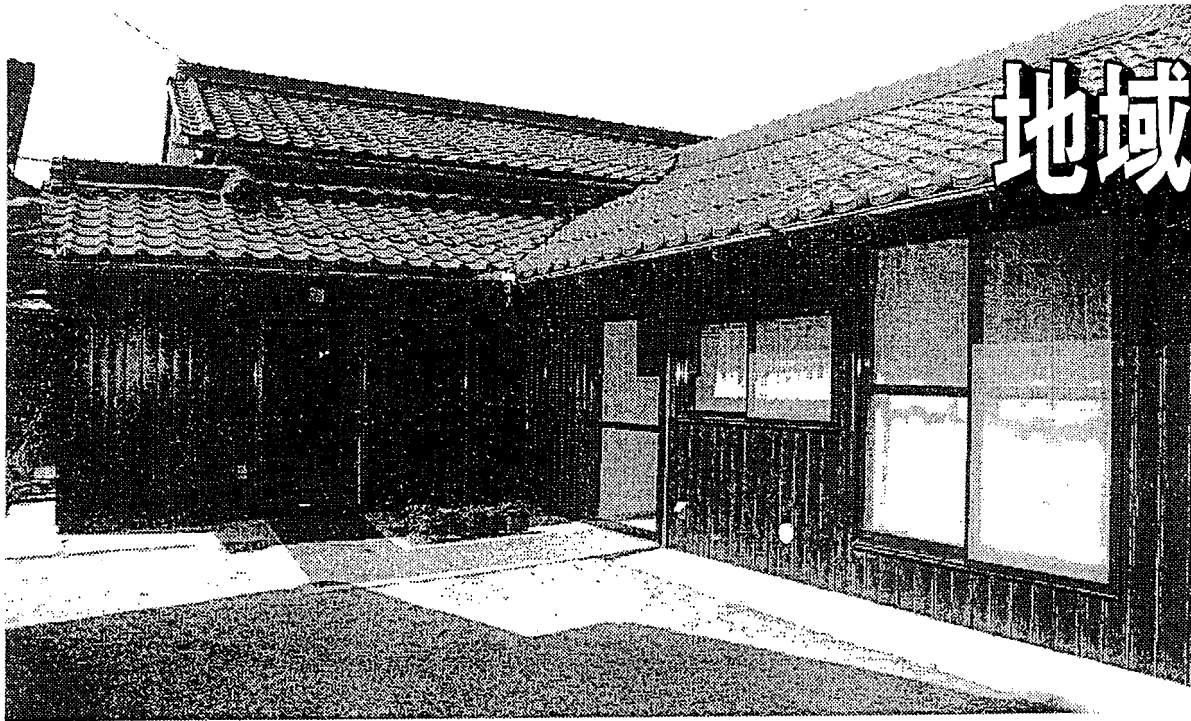
	毎日	1~3回/週	その他
常時	光雄 充治 すゑ子	義雄・恒子 佐市 (月・水・木・金)	
昼中 14~	新一	絹枝 (月・水・木・金) 信一 寿夫 容子 (月・金) (天気のよい時) はる江 (日)	昇太郎 幸子
夕方	みどり はる江	鶴子	宏之 (月~金) 千代美 (月~金) 雅俊
自分の 買い物の 時		茂太郎・善吉 たみ子・澄江 やす子	俊治 (土・日) 笑子 (土・日)
その他	駒治 (勤め帰り) 千春 (勤め帰り) 哲三郎	小百合 芳江 鈴子 修三 喜久江 利市 年男 久子	栄次 芳夫 勲 藤太郎 幸江 ぶみ子 末吉



## お願いは、どうすればいいの

なにか、お手伝いをお願いしたいときは、自分のお願したいこと、相手がお手伝いのできる内容をたしかめて、直接お願いをします。  
依頼(お願いされた人)を受けた人は、都合がよければお手伝いをお願いします。  
都合が悪いときは大字福祉委員会の委員長までご連絡していただきます。  
委員会で対応を検討します。

# 地域で支え合う結の家



古民家を改修した「結の家」外観

所の人々が楽しく寄り合ったり、要介護のお年寄りが食事や入浴をしたりできるサービスを提供する。社会福祉士や看護師、ケアマネジャーの有資格者四人が常

## 愛東外町にデイサービスセンター

### 19日から受け入れ開始

### NPO法人「結の家」が開設

【東近江】東近江市愛東外町に古民家を改修したデイサービスセンター「結(ゆい)の家」が開設され、十九日からお年寄りの受け入れを始める。

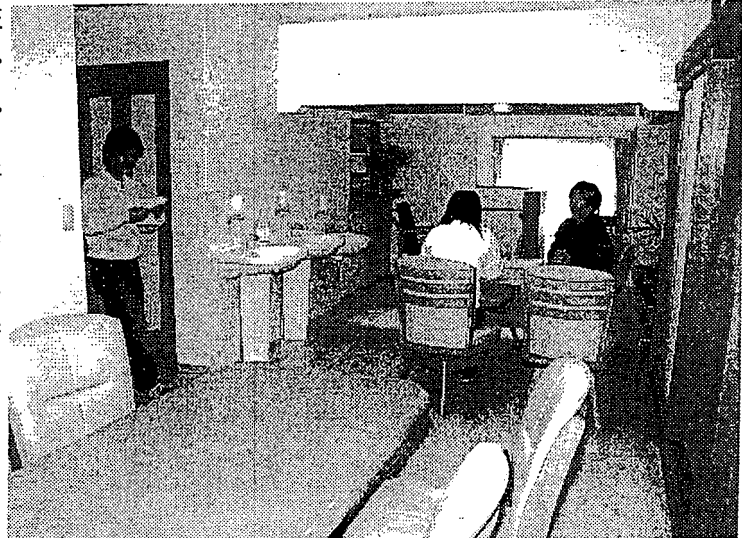
同町では、平成七年に地域の中で老人福祉施策を考える「福祉委員会」が設置され、その議論を深めていく中で身近な地域にデイサービスセンター開設の必要性が浮かび上がってきたことから、その委員の一人で実務経

験のある元町社協職員の大田清藏さん(43)が代表を務めるNPO法人「結の家」が開設され、デイサービス事業を始めることになった。

完成した「結の家」は、町内で空き家となっていた木造平屋建ての古民家を借用し、お年寄りが安心して過ごせるよう、内部を食事や団らんの場となるテニール、入浴室、厨房、機能訓練室などをバリアフリー化して改修

整備した。結の家の「結」とは、集

駐し、日、月曜日を除く毎日、午前九時半～午後四時まで受け入れる。利用するには、介護保険サービスの利用者負担が必ず。代表の大田さんは「デイサービスを基本に、学童保育所や市民活動にも利用の輪を広げていきたい。地域に溶け込んだ、



バリアフリーにされた内部

楽しく自由に集える、憩いの場にしていきたい」と話している。NPO法人「結の家」では、活動を支える会費を募集している。入会金一千元、年会費二千元で誰でも会員になれる。問い合わせは、結の家(☎0749-46-1740)へ。

# あつたか広場を開設

しみんふくしの家八日市

## 子育て井戸端会議で情報交換

### 悩み解消の屋根付き子供公園

NPOの法人しみんふくしの家八日市（小堀理事長）が開設した「あつたか広場」（同市東沖野二丁目）は、子育て中の母親が自由に集まり、子供を遊ばせながら悩みも経験を通じて情報交換の場だ。これまで、事業を行なう介護、保育、グループホームに加え、子育て支援にも乗り出した同施設は、県が取り組む地域の福祉サービス・生活支援の拠点「あつたかほーむ」のモデルケースとして、県内だけでなく、外からも注目を集める。



しみんふくしの家（東沖野）に開設の「あつたか広場」

部屋中にワイワイ、カヤカヤ、その笑い声が響き、砂場や遊具が人形、おもちゃ、絵本に代わった屋根付き子供公園といったところだ。もちろん公園だから、使用も無料、自由足が運べる。

あつたか広場は、世代交わり子育て支援を目的に設けられた。子育てに経験の浅い母親が子供とともに集まり、悩みや経験を話し合ったり、先輩からの話を聞いたりして、味方感が張り巡らされ

た約千畳のワンフロアを情報提供（井戸端会議）の場として使っている。利用時間は平日の午前10時から正午までだが、企画運営を担当する専属のコーディネーターが配属され、毎月一回、母親と子育て経験者ほか、お年寄りの参加をお話を聞いている。

また、広場へは同じ屋根の下にあるグループホーム（入所八人の高齢者も訪れ、子供と母親に交じての井戸端会議に花を咲かせるとの温かい姿こそ、世代間交流だけでなく「地域が家庭を再認識させる」。

小堀理事長は「八日市市という地域性から、外国の人にも参加を呼び掛け、子育てだけでなく、日常生活の支援や異文化交流にも努め、コミュニティの拠点にした」と、今後の抱負

を語る。園児も募集 同施設内には、子育て支援の一環として保育事業にも取り組んでいる。〇歳から就学前の幼児を対象に、自然と親子ながら、あつたか広場の学童保育所に通う子供のほか、ホム入所の高齢者のふれあいの場でもある。一時預かりから長期保育まで、時間や料金など詳しくは、しみんふくしの家八日市の保育担当（☎20-5457）へ問い合わせる。

「人々が互いに支え合い、互いに尊敬し合える、住み慣れた住家やわが町で、自分らしく生活しながら子供も伸び伸びと育つ」を願った88年3月、「しみんふくしの家八日市」（小堀理事長）が誕生した。



「あつたか広場」にグループホーム入所者も参加

## 新しい市民社会をめざして

もめて。その結果に悩むママさんたちだ。

単に施設に預かるだけでなく、パソコンや購読会などに行きたがっている親のための出張保育、そして産前産後の母親支援のためのスピーチライター事業も実施している。いずれも保育士が担当している。

また、子育て体験の場として、母親たちが子育ての悩みを話し合ったり、遊んだり、あるいは先輩母親の経験談を聞いた

連絡先 八日市市東沖野2の5の5。  
電話、ファクス0748・20・5457

の悩み「あつたか広場」も通っている。

会員も100人を超え順調発展しているが、事務局員も川原さんやメンバーの介護員について「因果症になつて住み慣れた住家、わが町で子育てするママさん、医療、介護を総合的に考えていきたい」と抱負を語る。

因果症とは、記憶障害、知識書などがあり、人への対応は複雑な顔だげ状態も出るのだ。因果症になればなるほど

## 住み慣れた家、町で

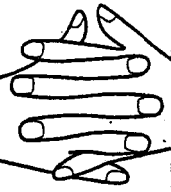
保障を理念に身体介護と家事援助を行う訪問介護事業も実施している。身体介護は食事、排泄、入浴、衣類を着たり脱いだりの手助けなど、家事援助は掃除、拭き、調理、買い物などが対象だ。利用区域は八日市市を中心に蒲生、神崎、愛知郡の一部に及び、日曜、夜間も含め24時間対応できる。

学童保育事業は、八日市南小区（市引小区）、学童クラブおきのび「学童クラブおきのび」を開設している。女性の社会進

## しみんふくしの家八日市

出が進むなか、低学年の子もたちが放課後、安全に、しかも有償で過ごす場所がないという親たちの要望に応えた事業だ。平日の午前11時45分から午後6時15分まで開いている。定員はそれぞれ20人ほどだ。

一方、子育て事業の一環として、就学前幼児を対象にした保育事業も行っている。乳幼児は本来、家庭で過ごすのが一番望ましいのだが、さまざまな事情で長期あるいは短期に子どもを預かってほしいという親たちが



## あつみネットワーク



夕涼み会の看板を作る学童保育の子どもたち

## 自分らしい生活を

で受け入れられなくないかが、初期であれば家族、地域理解と適切な福祉（介護）がなければ可能になる。また、のために医療（専門医）が（介護）と福祉（介護）と連携が必要になってくる。適切な役割を果たす神経内科医不足しているのが大きな悩みという。NPOの頑張りで解決できない問題だが、川原さん「多くの人々を一緒に歩んでいきたい」と、前向きだ。【富田完未

# 報知写真新聞

昭和 48 年 3 月 10 日 第三種郵便物認可  
 購読料一か月 500 円一冊 20 円  
 <日刊> 第 10783 号 (1)

ヘアのことなら銀香グループへ  
**アビ 銀香** パーティハウス  
 Tel.0748-23-5959 Tel.0748-23-2032  
**スタッフ募集**  
 やる気のある方お電話ください

資生堂 カネボウ化粧品 コーゼー etc  
**20% OFF!**  
 CAROLINE の店  
 PARIS de beauté



元気に水遊ぶ子どもたちと時折声を掛けながら見守るお年寄り

お年寄りとのふれあい楽しみながら

## 青空と自然の下でのびのび元気に

### しみんくくしの家八日市保育 新施設へ移転で

しみんくくしの家八日市 子どもたちの交流を楽し  
 保育が今春、駅前ビルの  
 一室から庭や花壇のある  
 みんぐくしの家グループホ  
 ーム(八日市市東神野二丁  
 ム)の施設内に移転し、子  
 どもたちが青空の下で元  
 々活動している。また、  
 グループホームを利用する  
 お年寄りも、外から聞こえ  
 て来る元気の声に誘われて、  
 初夏高陽者のためのグルー  
 プホームを東近江地域では  
 初めて東神野二丁目一オ  
 ーブル、自立生活支援活動  
 がスタートした。

を目的に四年前に設立され  
 て以来、保護者の様々なニ  
 ーズに合わせて、一時期か  
 りから自極めまでの保育サ  
 ービスを行ってきた。  
 また、昨年十一月には、  
 お年寄りの自然な交流の中  
 の情緒安定や人格形成な  
 ど、相乗的な効果が期待で  
 きるとして、ホームの一室  
 を保育室にすることに。  
 施設内の花壇には実のな  
 る木が多く、子どもたちは  
 季節や自然の恵を感じ、お  
 年寄りとのふれあいを楽し  
 みながら、元気いっぱいの  
 時間を過ごしている。  
 現在、十組ほどがそれぞ  
 れの都合に合わせて利用し  
 ているようで、中には、幼  
 稚園から帰ってからのこ  
 預かってもらう保護者もい  
 るとか。

急な用事だけでなく、自  
 分の時間の確保、近所に遊  
 び相手がない、集団生活  
 の経験などによる保育にも  
 応じている。

保育時間は午前九時から  
 午後五時だが、時間外や土  
 曜日、休祝日の保育の相談  
 にもつくられる。保育料  
 は一時七百円、問い合わせ  
 せよ、しみんくくしの家八  
 日市(☎0748-2015  
 450)まで。

平成17年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

科目	平成17年4月1日から平成18年3月31日		
	金額	小計 合計	
<b>(資金収支の部)</b>			
<b>I. 経常収支の部</b>			
1. 会費、入金収入			
入会金	8,000		
会費	95,000		
賛同会費			
		104,000	
2. 事業収入			
ホームサービス事業収入	604,450		
保育事業収入	5,524,090		
出張保育事業収入	1,094,306		
訪問介護事業収入	933,230		
通所介護事業収入	38,629,693		
グループホーム事業収入	35,416,890		
学園クラブのびき事業収入	7,442,875		
学園クラブおまの事業収入	1,497,500		
あったか広場事業収入	1,840,000		
NPO支援センター事業収入	2,518,099		
男女参画形成活動事業収入	1,573,180		
生きがいデイ事業収入	4,644,386		
		101,718,700	
3. 補助金収入			
人性費補助			
学園のびき補助金			
		0	
4. 雑収入			
受取利息	120		
その他の雑収入	252,200		
		252,320	
経常収入合計		252,320	102,075,020

II. 経常支出の部	金額	小計 合計	
		金額	合計
<b>1. 事業費</b>			
人件費			
給 与	53,611,632		
賞 与	7,402,500		
法定福利費	4,040,138		
			65,054,270
<b>2. 管理経費</b>			
労働保険料	842,730		
消耗器具備品費	1,240,913		
車両費	1,689,407		
水道光熱費	2,956,432		
給食費	2,817,465		
保健衛生費	51,282		
教養娯楽費	2,202,027		
旅費交通費	168,980		
研修費	1,289,345		
通信運搬費	629,500		
事務消耗品費	903,347		
印刷製本費	6,544		
広報費	305,750		
会費	681,555		
雑費	800,180		
保守費	412,695		
賃借料	5,583,600		
保険費	501,230		
拠外費	25,308		
社会費	162,960		
租税公課	3,463,924		
雑利費	111,300		
雑損失	153,046		
委託費	2,188,835		
雑費	106,725		
			30,647,092
<b>3. 施設設備関係</b>			
備品			
			336,000
経常支出合計			96,037,362
経常収支差額			6,037,658
<b>III. その他資金収入の部</b>			
1. 借入金収入			
2. その他の収入	1,535,046		
			1,535,046
その他資金収入合計			1,535,046
<b>IV. その他資金支出の部</b>			
1. 建物取得支出			
2. 備品取得支出			
3. 建物附属設備取得支出			
4. 機械及び装置取得支出			
5. 積立取得支出			
6. 雑損失	39,969		
7. その他の支出(流動資産累計差額等)	4,109,164		
			4,149,133
その他資金支出合計			4,149,133
当期収支差額			3,423,571
前期繰越収支差額			9,439,015
次期繰越収支差額(次期繰越資金)			12,862,590